房総半島・鋸山（のこぎりやま）

（メンバー）高橋、八木、古屋、鈴木（忠）、横山、佐々木、二宮、鈴木（博）、前田、加藤

２０１９年３月１６日（土）曇時々薄日
ＪＲ浜金谷駅１０：１５　車力道登山口１０：３５　地球が丸く見える展望台１１：２０～３５
鋸山１１：５０～１２：１５　ＪＲ浜金谷駅１３：４５　（温泉と反省会）　解散１６：００

ＪＲ浜金谷駅に本日の参加者１０名が集合する。ＯＢ山行としては初めての千葉県での山行で、「鋸山」は近くて遠い山だ。バスやＪＲ、フェリー等のアクセスを利用して予定通りに集合する。朝まで雨だったようだが、時折薄日が差す天候に回復している。駅前から住宅街を抜け、登山道「車力道」コースの入り口に着く。２０数名のクラブツーリズムの団体さんが３パーティ、前後する。

（住宅街を抜け、車道を行く）

（館山自動車が上を走っている）

（「車力道」の入口での記念撮影）

（登山道はよく整備されている）

「車力道」は、主に女性達が切り出した石を下に降ろしたようだ。たいへんなご苦労だったと思う。頭が下がる。そんなことを思いながら、ひと汗かくと石切り場のふもとに着く。

鋸山の石切りの歴史

江戸時代後期から、職人が鋼のつるはしで房州石を一人・８本／日切り出し、ねこ車に１本８０Ｋｇを３本載せ、麓までの運搬は「車力」と呼ばれる女性達だったそうです。房州石は江戸方面の建設材として使われ、昭和６０年を最後に石切りの歴史は幕を閉じたそうです。

（石切り場に到着）　　（急な階段を行く）

石切り場の間の急な階段を行くと、やがて「地球が丸く見える展望台」に到着する。

（「地球が丸く見える展望台」での記念撮影）　（「展望台」から房総半島先端方向）

「地球が丸く見える展望台」から鋸山山頂（３２９．４ｍ）へ向かう。山頂で昼食とする。

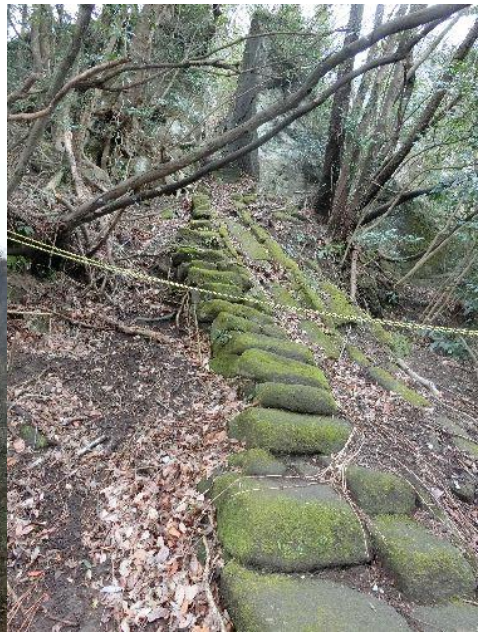
（鋸山へ向かう）　　（鋸山山頂にて）

下山路は、石切り場下を通り、「観月台コース（関東ふれあいの道）」を下って浜金谷駅へ向かう。

（下り坂にて）

（石切り場にて）

（「のぞき」を下から望む）



（「切り出した石」を降ろした道）

（長い下り階段から金谷の街を見下ろす）

（長い階段を下った「車力道」分岐点）

浜金谷駅に到着後、送迎バスで天然温泉「海辺の湯」・漁師料理「かなや」へ行き、温泉にて汗を流し反省会を行った後、無事解散した。

（以上）